

# 一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるものです。12月定例会では23名の議員が一般質問を行いました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施しています。

ここでは、議会広報委員会が事項別に整理した内容の一部を掲載しています。

一般質問の全文は、2月中旬作成予定の本会議録に掲載します。図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

## 深沢のまちづくり

深沢のまちづくりについて、次の質問が行われました。

### 〔交通環境〕

質問：深沢地域整備事業用地周辺の交通環境について、特に県道藤沢鎌倉線から整備事業用地へのアクセスに問題がある。鎌倉方面から深沢支所入口の信号を右折した先の道は幅員が狭い上に、深沢小学校の通学路でもある。また、深沢交差点の信号を右折した先の道は、信号間の距離が短く、日頃から渋滞している状況がある。これらの課題に対して今後どのような対策を行っているかと考えているか。

回答：深沢地域整備事業用地周辺の交通環境については、特に県道藤沢鎌倉線から整備事業用地へのアクセスに問題がある。鎌倉方面から深沢支所入口の信号を右折した先の道は幅員が狭い上に、深沢小学校の通学路でもある。また、深沢交差点の信号を右折した先の道は、信号間の距離が短く、日頃から渋滞している状況がある。これらの課題に対して今後どのような対策を行っているかと考えているか。

質問：JR引込線跡地の活用も深沢のまちづくりには大きな影響がある。現在、引込線跡地の全体の活用計画はどのように進めているか。

回答：JR引込線跡地の活用も深沢のまちづくりには大きな影響がある。現在、引込線跡地の全体の活用計画はどのように進めているか。

質問：山崎跨線橋南交差点の整備を行う。また、三菱電機鎌倉製作所東側と南側に位置する道路の整備に向け、引込線跡地を交換用地として利用する。この両方を合わせると、全体面積の約7割を活用することになっている。一方、残りの3割は、民家に接していることや、土地の形状に起因する制約等の課題があり、現時点では具体的な利活用の方針は決定していない。

回答：山崎跨線橋南交差点の整備を行う。また、三菱電機鎌倉製作所東側と南側に位置する道路の整備に向け、引込線跡地を交換用地として利用する。この両方を合わせると、全体面積の約7割を活用することになっている。一方、残りの3割は、民家に接していることや、土地の形状に起因する制約等の課題があり、現時点では具体的な利活用の方針は決定していない。

質問：深沢地域整備事業で最終的に鎌倉市の負担となるのは、土地区画整理事業に36億円、橋に7億円、新駅に4億円、合計47億円と試算されている。一度に多額の支出を要すると、市の財政を圧迫する恐れがある。支出の平準化は見込まれるのか。

回答：深沢地域整備事業で最終的に鎌倉市の負担となるのは、土地区画整理事業に36億円、橋に7億円、新駅に4億円、合計47億円と試算されている。一度に多額の支出を要すると、市の財政を圧迫する恐れがある。支出の平準化は見込まれるのか。

質問：土地区画整理事業は、工事の着手から完了まで10年前後を要すると見込んでいる。この期間内に行う新しい橋の整備には約3年間、新駅の設置には約8年間を要すると見込んでいる。それぞれの事業費は年度ごとの進捗状況に従って支出をするが、特定の年度に集中して財政を大きく圧迫するということではないかと考えている。事業計画に従い、年度ごとの負担額に差異は生じることとなるが、可能な限り、各年度の負担の平準化を図ることで単年度会計を過度に圧迫することがないように調整していく。

回答：土地区画整理事業は、工事の着手から完了まで10年前後を要すると見込んでいる。この期間内に行う新しい橋の整備には約3年間、新駅の設置には約8年間を要すると見込んでいる。それぞれの事業費は年度ごとの進捗状況に従って支出をするが、特定の年度に集中して財政を大きく圧迫するということではないかと考えている。事業計画に従い、年度ごとの負担額に差異は生じることとなるが、可能な限り、各年度の負担の平準化を図ることで単年度会計を過度に圧迫することがないように調整していく。

質問：恒常的な労働力不足、建設資材価格の変動などにより、工事費が現在の試算を大幅に上回る事態はかなりの確率で起こり得ると考えるが、危機管理としてできる対処は何か。

回答：恒常的な労働力不足、建設資材価格の変動などにより、工事費が現在の試算を大幅に上回る事態はかなりの確率で起こり得ると考えるが、危機管理としてできる対処は何か。

質問：現在、URとの間で、事業計画の細部にわたる点検作業を行っている。事業費の高騰など、不測の事態が発生したとしても事業に影響しないようリスク管理に努めている。実施に当たっては、全体事業費のさらなる縮減、国庫補助金の活用の検討により、市の負担を増加させることなく事業を進めていきたい。

回答：現在、URとの間で、事業計画の細部にわたる点検作業を行っている。事業費の高騰など、不測の事態が発生したとしても事業に影響しないようリスク管理に努めている。実施に当たっては、全体事業費のさらなる縮減、国庫補助金の活用の検討により、市の負担を増加させることなく事業を進めていきたい。

質問：新駅設置を伴うまちづくりから得られる財政効果としては、土地区画整理事業が全て完了した時点で年間16億円と試算しているが、工事の進捗次第で段階的に財政効果を見込むことができるのか。

回答：新駅設置を伴うまちづくりから得られる財政効果としては、土地区画整理事業が全て完了した時点で年間16億円と試算しているが、工事の進捗次第で段階的に財政効果を見込むことができるのか。

質問：令和10年度の新庁舎開庁を第1次まちびらきとして想定している。年間16億円の税収については、土地区画整理事業が完了し、深沢地区のまちづくりが完成した後に発生する効果であるが、新庁舎が開庁する前後から段階的に事業区域内のまちの整備や周辺地域の土地利用の高度化が進むことで、主に固定資産税や都市計画税による収入増の効果をj見込んでいる。

回答：令和10年度の新庁舎開庁を第1次まちびらきとして想定している。年間16億円の税収については、土地区画整理事業が完了し、深沢地区のまちづくりが完成した後に発生する効果であるが、新庁舎が開庁する前後から段階的に事業区域内のまちの整備や周辺地域の土地利用の高度化が進むことで、主に固定資産税や都市計画税による収入増の効果をj見込んでいる。

質問：本庁舎を深沢に移転して整備する方針に付随し、消防本部・大船消防署、深沢消防出張所を深沢地域整備事業用地内の行政施設用地へ移転整備することが示されている。本庁舎の一体的な整備を進めるとして、新たな消防本部に整備する機能はどのようなものか。

回答：本庁舎を深沢に移転して整備する方針に付随し、消防本部・大船消防署、深沢消防出張所を深沢地域整備事業用地内の行政施設用地へ移転整備することが示されている。本庁舎の一体的な整備を進めるとして、新たな消防本部に整備する機能はどのようなものか。

質問：現在の消防本部庁舎は平成27年4月1日に由比ガ浜にあった消防本部機能を現在地の大船消防署へ移転したため、会議室、執務室、車両ガレージ等のスペースが十分に確保できていない。また、消防本部・大船消防署の合同庁舎と深沢出張所は、建築後約40年が経過し、庁舎の老朽化に伴い、維持修繕に苦慮している。移転後の消防本部は庁舎の耐震性能はもとより、会議室の利便性の向上、平常時・災害時における本庁との情報共有、連絡調整の迅速化が図られ、防災力の強化につながる。また、隣接するグラウンド、広場を活用し、緊急消防援助隊等の受援体制の確立を図ることができるとは、衛生面や感染対策の面で仮眠室の個室化や災害対応に必要なとされる居室等を整備し、職場環境の改善を図ることができると考えている。

回答：現在の消防本部庁舎は平成27年4月1日に由比ガ浜にあった消防本部機能を現在地の大船消防署へ移転したため、会議室、執務室、車両ガレージ等のスペースが十分に確保できていない。また、消防本部・大船消防署の合同庁舎と深沢出張所は、建築後約40年が経過し、庁舎の老朽化に伴い、維持修繕に苦慮している。移転後の消防本部は庁舎の耐震性能はもとより、会議室の利便性の向上、平常時・災害時における本庁との情報共有、連絡調整の迅速化が図られ、防災力の強化につながる。また、隣接するグラウンド、広場を活用し、緊急消防援助隊等の受援体制の確立を図ることができるとは、衛生面や感染対策の面で仮眠室の個室化や災害対応に必要なとされる居室等を整備し、職場環境の改善を図ることができると考えている。

### 〔新庁舎関連〕

質問：本庁舎を深沢に移転して整備する方針に付随し、消防本部・大船消防署、深沢消防出張所を深沢地域整備事業用地内の行政施設用地へ移転整備することが示されている。本庁舎の一体的な整備を進めるとして、新たな消防本部に整備する機能はどのようなものか。

回答：現在の消防本部庁舎は平成27年4月1日に由比ガ浜にあった消防本部機能を現在地の大船消防署へ移転したため、会議室、執務室、車両ガレージ等のスペースが十分に確保できていない。また、消防本部・大船消防署の合同庁舎と深沢出張所は、建築後約40年が経過し、庁舎の老朽化に伴い、維持修繕に苦慮している。移転後の消防本部は庁舎の耐震性能はもとより、会議室の利便性の向上、平常時・災害時における本庁との情報共有、連絡調整の迅速化が図られ、防災力の強化につながる。また、隣接するグラウンド、広場を活用し、緊急消防援助隊等の受援体制の確立を図ることができるとは、衛生面や感染対策の面で仮眠室の個室化や災害対応に必要なとされる居室等を整備し、職場環境の改善を図ることができると考えている。

質問：令和10年度の新庁舎開庁を第1次まちびらきとして想定している。年間16億円の税収については、土地区画整理事業が完了し、深沢地区のまちづくりが完成した後に発生する効果であるが、新庁舎が開庁する前後から段階的に事業区域内のまちの整備や周辺地域の土地利用の高度化が進むことで、主に固定資産税や都市計画税による収入増の効果をj見込んでいる。

質問：本庁舎を深沢に移転して整備する方針に付随し、消防本部・大船消防署、深沢消防出張所を深沢地域整備事業用地内の行政施設用地へ移転整備することが示されている。本庁舎の一体的な整備を進めるとして、新たな消防本部に整備する機能はどのようなものか。

## 一般質問項目一覧

一般質問の録画中継映像は、こちらからご覧いただけます▶



- ① 藤本 あさこ (鎌倉アプデ)
  - 1 欧州連合都市間協力プロジェクトの方針について
  - 2 幼稚園等の送迎バスの安全管理について
  - 3 かまくらU L T L Aプログラムについて
  - 4 生理の貧困対策について
- ② 竹田 ゆかり (かわせみ)
  - 1 すべての子どもを組織的に支援する校内体制づくりについて
  - 2 「ヤングケアラー支援」に向けた取り組みについて
  - 3 ICTの良き使い手となるための学びについて-「デジタル・シティズンシップ教育」の推進
- ③ 児玉 文彦 (公明党)
  - 1 鎌倉市の財政に関して～経常収支比率改善の取り組み～
  - 2 鎌倉市の国際交流取り組みに関して～姉妹都市・友好都市～
- ④ 高野 洋一 (日本共産党)
  - 1 学校給食の改善について
  - 2 子どもたちなど多世代の居場所づくりについて

- ⑤ 岡田 和則 (鎌倉アプデ)
  - 1 大船東口市街地再開発事業等におけるまちづくり
  - 2 農振地域における農道整備と居住空間整備について
  - 3 市庁舎のあり方について
  - 4 深沢のまちづくり
  - 5 ふるさと寄附金の取り組みについて
  - 6 経常収支比率の改善への取り組みについて
  - 7 御成通りの電線地中化について
  - 8 大船観音前マンション建設跡地の活用について
- ⑥ 後藤 吾郎 (ヴィジョン)
  - 1 新型コロナウイルスワクチン接種3回目について
  - 2 木々倒壊対策(助成制度)の進捗について
  - 3 ドッグランについて
  - 4 今後の経済対策について
- ⑦ くりはらえりこ (かわせみ)
  - 1 鎌倉市全域の防犯体制と防犯対策について (SDG s目標16)
  - 2 子どもへの細やかな支援体制について (SDG s目標3・4)
  - 3 パリアフリー・ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりについて (SDG s目標3・6・11)
- ⑧ 武野 裕子 (日本共産党)
  - 1 コロナ禍での市民生活の実態と支援のあり方を問う

- 2 社会基盤マネジメント計画の進捗状況と道路、下水道整備について
- ⑨ 中里 成光 (ゆめみらい)
  - 1 鎌倉市の市民活動について
  - 2 鎌倉市の地産地消エネルギーについて
  - 3 鎌倉市役所職員の働き方について
- ⑩ 千 一 (無所属)
  - 1 市長選挙と衆議院議員選挙について
  - 2 学校にいけない子どもたちへの対処について
  - 3 目の不自由な方について
  - 4 危険な道路について
- ⑪ 前川 綾子 (ゆめみらい)
  - 1 市長のマニフェストから子ども・子育て・教育の諸課題について
- ⑫ 池田 実 (ゆめみらい)
  - 1 深沢地域のまちづくりについて
- ⑬ 納所 輝次 (公明党)
  - 1 深沢地域整備事業について
  - 2 本庁舎等整備の取組について
- ⑭ 日向 慎吾 (ゆめみらい)
  - 1 来夏の海水浴場開設に向けて
- ⑮ 久坂 くにえ (ヴィジョン)
  - 1 行財政改革について
- ⑯ 出田 正道 (ヴィジョン)
  - 1 北鎌倉隧道について
  - 2 9月議会一般質問からの進捗について
- ⑰ 長嶋 竜弘 (無所属)
  - 1 新型コロナウイルス「SARS-CoV2」による感染症について

- ⑱ 吉岡 和江 (日本共産党)
  - 1 元気で健康に安心して暮らせるまちづくりをめざして
- ⑲ 井上 三華子 (ネット)
  - 1 子宮けいがんワクチンについての国の積極的勧奨再開への対処
  - 2 香害の周知について
- ⑳ くり林こうこう (無所属)
  - 1 学童保育・アフタースクールの利用希望者全員受け入れに向けて
  - 2 18歳以下医療費完全無料化に向けて
  - 3 高齢者向け移動支援策の拡充について
  - 4 観光客向けロードプライシングの実現に向けて
  - 5 鎌倉駅西口時計台の活用について
  - 6 道路安全の確保について
  - 7 図書館、生涯学習センターの利用について
  - 8 粗大ごみの日曜受付について
  - 9 選挙事務の効率化について
  - 10 個人情報流出事案再発防止の進捗について
- ㉑ 松中 健治 (無所属)
  - 1 危機管理について
  - 2 財政
- ㉒ 保坂 令子 (ネット)
  - 1 深沢のまちづくりについて
- ㉓ 大石 和久 (公明党)
  - 1 「新型コロナ対応について」

※ゆめみらい=夢みらい鎌倉 ヴィジョン=鎌倉のヴィジョンを考える会 公明党=公明党鎌倉市議会議員団 日本共産党=日本共産党鎌倉市議会議員団  
 ネット=神奈川ネットワーク運動・鎌倉 自民党=自由民主党鎌倉市議会議員団 かわせみ=鎌倉かわせみクラブ 鎌倉アプデ=鎌倉アップデートチャレンジ